文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	埼玉県小鹿野町	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	小鹿野町の屋台と歌舞伎を	を活かした地域活性化質	事業
4 実施計画期間	平成 27 年度	~ 平成 31	年度

5 実施計画の概要

小鹿野町文化財活性化プラン(平成22年策定)を踏まえ、地域の文化遺産を次世代への継承・発展や、文化遺産を活用して地域活性化を推進するため、下記の取組を実施する。また、実施計画期間中は、下記の取組を通じて、地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。

- 1 飯田八幡神社の祭り (鉄砲祭り) に使用する「飯田屋台」の修理事業
- 2 上飯田若連(歌舞伎伝承組織)による小鹿野歌舞伎及び子ども歌舞伎公演の開催

6 実施体制

小鹿野町が、本実施計画に係る全体の企画・調整や各補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は下記の とおり。

小鹿野町教育委員会社会教育課:各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等。

また、補助事業は次の団体が実施する。

小鹿野町文化財活用活性化実行委員会(会長:八宮正男)

構成団体(小鹿野町文化財保護審議委員会、飯田屋台保存会、小鹿野歌舞伎保存会、小鹿野町社会教育委員会、 小鹿野文化団体連合会、小鹿野町・小鹿野町教育委員会)

7 実施計画における目標と期待される効果

別紙①のとおり

8 補助事業の概要

(1) 補助金額 ~平成28年度交付決定額:

14,444 千円 平成29年度申請額:

6,433 千円

(2) 実施事業の概要 別紙②のとおり

9 その他計画実施により想定される効果 (定性的な効果を記載)

少子高齢化と過疎化が進む町内において、地域の文化遺産に対する関心や意識が向上し、今後の文化遺産の継承 が確実なものとなる。また、特色のある文化遺産を広く一般に普及することにより、祭りなどの観光客が増加する ことを目指し、地域の活性化に寄与する。

10 その他事業(自主財源、民間団体、他省庁等からの補助(支援)を予定している事業など)

事業概要:

事業概要:

事業概要:

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

本事業の実施により、地域一体となって文化遺産を保存・活用する機運を盛り上げ、平成31年度を目途に「歴 史文化基本構想」の策定を目指す。

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課

小鹿野町教育委員会 社会教育課

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	伝統文	化の維	述承体制	別の維持	宇・確	<u>1.</u>										
評価指標区分1:	祭礼行	事等の	保存会	会員数	女、保	存団体	数					(具体	的な指	標は次の	のとま	3 Y)
具体的な指標1:	飯田屋·	台保存	子会の会	会員数の)維持					関	連事	業:	飯田	屋台修	理事	業
目標値1:	平成	27	年度			17	人	⇒	平月	式	31	年度			17	人
設定根拠1:	少子高的	齢化と	: 過疎化	この状況	己の中	、保存	団体の会	会員数	を維	持し	~継承	を確実	実なもの)とする		
進捗状況1:					各	年度、	状況値.	、目標	悪に対	する	る達成	率				
平成 27 年度	平成	28	年度	平成	29	年度	平成	30	年月	变 3	平成	31	年度	平成	32	年度
17 人	17	7	人			人			人				人			人
#DIV/0!	#I	DIV/O	!													
目標区分2: 地域の文化資源を活用した集客・交流																
評価指標区分2:	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)															
具体的な指標2:	年間の	町内部	が舞伎な	演の延	Eベ入	込客数				関	連事	業: 上	:飯田若	連歌舞	伎公	演事業
目標値2:	平成	27	年度		2,	500	人	⇒	平月	戓	31	年度		3, 0	000	人
設定根拠2 : 町内歌舞伎公演(定期年7公演+α)の延べ入込客を20%増加させる。																
進捗状況2: 各年度、状況値、目標に対する達成率																
平成 27 年度	平成	28	年度	平成	29	年度	平成	30	年月	变 -	平成	31	年度	平成	32	年度
人			人			人			人				人			人

様式1-1別紙②

8(2) 実施事業の概要 別紙

事業①: 飯田屋	量台修理事業		実施団体: 小	鹿野町文化財活用活	性化実行委員会	
事業区分:	用具等整備		事業期間: 平	² 成 27 年度 ~	平成 31 年度	
事業概要:	化財「小鹿野の歌舞	谷文化財「飯田八幡神 舞伎芝居」の上演舞台 行事に使用する際事	となる小鹿野町指	宣官有形民俗文化財	「飯田屋台」の経年	
評価指標区分:	・保存会会員数の変	変化(維持)		(具体的な指	f標は次のとおり)	
具体的な指標:	少子高齢化と過疎化が進む飯田地区、飯田屋台保存会の会員数を維持する。					
目標値:	平成 27 年度	17	人 ⇒ 平成	31 年度	17 人	
進捗状況:		各年度、划	状況値、目標に対す	ける達成率		
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
17 人	人	人	人	人	人	
事業②: 上飯日	田若連歌舞伎公演事	些	実施団体:上	飯田若連		
	山石连帆奔区公供予		天旭四件.工	以 田石座		
事業区分:	T		7	² 成 28 年度 ~	平成 31 年度	
事業区分:	普及啓発 小鹿野町指定有升 の歌舞伎芝居」を	形民俗文化財「飯田屋 上飯田若連(歌舞伎伝 谷文化財「飯田八幡神	事業期間: 平 全台」を舞台にして (承組織) が子ども	7成 28 年度 ~ て、埼玉県指定無形良 か歌舞伎等を含めた歌	民俗文化財「小鹿野	
	普及啓発 小鹿野町指定有所の歌舞伎芝居」を 埼玉県指定無形民作	ド民俗文化財「飯田屋上飯田若連(歌舞伎伝	事業期間: 平 全台」を舞台にして (承組織) が子ども	28 年度 ~ て、埼玉県指定無形良っ歌舞伎等を含めた歌 (り)」で上演する。	民俗文化財「小鹿野	
事業概要:	普及啓発 小鹿野町指定有所の歌舞伎芝居」を 埼玉県指定無形民作 ・その他	ド民俗文化財「飯田屋上飯田若連(歌舞伎伝	事業期間: 平台 を舞台にして 承組織) が子ども 社の祭り (鉄砲条	A 28 年度 ~ (民俗文化財「小鹿野 次舞伎公演として、 「標は次のとおり)	
事業概要:	普及啓発 小鹿野町指定有升の歌舞伎芝居」を 埼玉県指定無形民作 ・その他 少子高齢化と過疎作	杉民俗文化財「飯田屋 上飯田若連(歌舞伎伝 谷文化財「飯田八幡神 とが進む飯田地区、上	事業期間: 平台 を舞台にして 承組織) が子ども 社の祭り (鉄砲条	A 28 年度 ~ (、埼玉県指定無形良い歌舞伎等を含めた歌奏り) 」で上演する。 (具体的な指数伝承組織) の会員数	民俗文化財「小鹿野 次舞伎公演として、 「標は次のとおり)	
事業概要: 評価指標区分: 具体的な指標:	普及啓発 小鹿野町指定有升の歌舞伎芝居」を 埼玉県指定無形民作 ・その他 少子高齢化と過疎作	杉民俗文化財「飯田屋 上飯田若連(歌舞伎伝 谷文化財「飯田八幡神 とが進む飯田地区、上 17 。	事業期間: 平金台」を舞台にして承組織)が子ども一社の祭り(鉄砲条	で成 28 年度 ~ 「、埼玉県指定無形良い歌舞伎等を含めた歌奏り)」で上演する。 (具体的な指数伝承組織)の会員数 31 年度	民俗文化財「小鹿野 次舞伎公演として、 旨標は次のとおり) 女を維持する。	
事業概要: 評価指標区分: 具体的な指標: 目標値:	普及啓発 小鹿野町指定有升の歌舞伎芝居」を 埼玉県指定無形民体・その他 少子高齢化と過疎体 平成 28 年度	杉民俗文化財「飯田屋 上飯田若連(歌舞伎伝 谷文化財「飯田八幡神 とが進む飯田地区、上 17 ~ 各年度、サ	事業期間: 平 会計を舞台にして 承組織)が子ども 事社の祭り(鉄砲系 会話では、 会述では、 会述を 会述では、 会述では、 会述では、 会述では、 会述では、 会述では、 会述では、 会述では、 会述では、 会述では、 会述では、 会述では、 会述では、 会述では、 会述では、 会述では、 会述では、 会では、 もでは、	で成 28 年度 ~ (民俗文化財「小鹿野 次舞伎公演として、 旨標は次のとおり) 女を維持する。	
事業概要: 評価指標区分: 具体的な指標: 目標値: 進捗状況:	普及啓発 小鹿野町指定有升の歌舞伎芝居」を 埼玉県指定無形民作・その他 少子高齢化と過疎作 平成 28 年度	杉民俗文化財「飯田屋 上飯田若連(歌舞伎伝 谷文化財「飯田八幡神 とが進む飯田地区、上 17 ~ 各年度、サ	事業期間: 平 会計を舞台にして 承組織)が子ども 事社の祭り(鉄砲系 会話を表現して 会ができる。 。 会ができる。 。 会ができる。 。 とができる。 。 とができる。 。 とができる。 。 とができる。 。 とができる。 。 とでできる。 。 とでをできる。 。 とでをできる。 。 とでをできる。 とでをでをできる。 とでをでをできる。 とでをでをでをできる。 とでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでを	で成 28 年度 ~ (民俗文化財「小鹿野 次舞伎公演として、 5標は次のとおり) 女を維持する。 17 名	